

公立大学法人下関市立大学第2期中期目標

目次

基本的な目標

- I 中期目標の期間
- II 教育に関する目標
- III 研究に関する目標
- IV 地域貢献に関する目標
- V 国際交流に関する目標
- VI 管理運営等に関する目標

基本的な目標

公立大学法人下関市立大学は、総合的な知識と専門的な学術を教授研究し、地域に根ざし世界に開かれた教育研究を実践することにより、下関はもとより、東アジアさらには国際社会の発展に寄与することを目的として、大学を設置し、管理する。

以上の目的を達成するため、理事長及び学長のリーダーシップの下、より機動的・戦略的な大学改革を行うとともに、以下の5項目を重点目標として自主的かつ効果的な大学運営を行う。

(1) 教育の質の保証と向上

大学設置の目的に沿った人材育成目標を達成するため、カリキュラムの再編成を柱とした抜本的教育改革を行い、質の高い教育を実施する。

(2) 学術的諸課題に挑戦する高い水準の研究

研究支援体制を整え、学術的諸課題に挑戦する独創的で特色ある高い水準の研究を推進し、その成果を社会に還元する。

(3) 就業力の育成

就職支援を含めた学生支援体制を一層充実させるとともに、学生の就業力育成に力を入れ、実社会で活躍できる人材を育成する。

(4) 国際交流の推進

一層の国際交流体制を整備し、特に東アジアを念頭に置いた学生・学術の国際交流を推進する。

(5) 地域共創を通じた地域貢献

豊かな地域社会の創成に貢献するため、地域との共創関係を構築しつつ、地域課題の解決に向けた教育と研究に積極的に取り組む。また、産学官連携を推進し、大学としてより一層の地域貢献を果たす。

I 中期目標の期間

中期目標の期間は、平成25年4月1日から平成31年3月31日までの6年間とする。

II 教育に関する目標

学士課程では、学生の主体的に学ぶ意識を育み、専門的知識と深い教養の修得を目指し、現代社会に適応しうる創造的で教養豊かな高度職業人を育成する。

修士課程では、高度な専門的知識と実践的能力を養成し、ビジネス環境の国際化などに対応しうる高度な専門的職業人や、地域社会において活躍できる人材を育成する。

1 質の高い入学者の確保

「社会の多様な問題に関心を持ち、主体的に学ぼうとする意欲のある個性豊かな学生」の受け入れという入学受入方針に基づいて質の高い学生を確保するため、選抜方法の適正化を図るとともに、その成果を検証し、社会的なニーズに応じた見直しや改善を行う。

また、意欲ある学生を積極的に受け入れるため、高大連携を強化する。

修士課程においては、各専攻・分野の教育目標を明確化し、その特性を踏まえた教育内容・方法の充実に取り組むことにより、入学者の確保に努める。

2 学士課程教育の充実

(教育内容)

カリキュラムの再編成などの抜本的な教育改革を行うことにより、社会的なニーズに応じた基礎教育、教養教育及び専門教育を通じて、より効果的に、実効性のある知識・スキルやバランスのとれた豊かな教養を身につけさせるとともに、コミュニケーション能力や問題解決能力、プレゼンテーション能力を養成する。

また、学生の社会的・職業的自立を早期に促し支援するため、入学時から一貫した段階的かつ体系的なキャリア教育を行い、学生の就業力を育成する。

(教育方法)

大学での学習スキルなどを身につけさせるための初年次教育や少人数対話型教育を充実する。また、学士課程教育の質保証のため、学習成果の検証を行うとともに、FDを推進し、教育方法の改善に反映させる。

3 修士課程教育の充実

(教育内容)

社会的なニーズに応じた専門教育、調査実習、演習などを通じて、高度な専門的知識を修得させるとともに、実践的に解決できる能力や企画立案力等を育成する。

また、大学院の専攻・分野の見直しに向けて、教育内容を一層充実させる。

(教育方法)

学生のニーズに対応できる柔軟な体制を構築するとともに、教育機能の更なる充実を図るため、FDを推進し、教育方法の検証・改善を行う。

4 学生支援の充実

(1) 学修支援

学生が希望する進路を早期に気づかせ、その実現に向けて、計画的な履修や適切な進路選択ができるよう、教職員が連携・協力し、きめ細かい学修支援を行う。

(2) 生活支援

学生が経済的に安定した環境で学修に取り組めるよう、適切な支援を行う。

学生を取り巻く社会環境の変化を踏まえ、メンタルヘルス、ハラスメントへの対応や薬物対策等、心身の健康に関する相談・支援を充実する。

(3) 就職支援

キャリアセンターを拠点に、教職員が一体となって学生の個性や要望に応じた就職・進路支援を行い、学生の就業力を育成しつつ、高い就職実績を維持する。

また、社会や学生のニーズを捉えた各種支援プログラムの充実を図り、就職活動を強力に支援する。

III 研究に関する目標

1 独創性及び特色のある高い水準の研究の推進

各教員の研究活動を活性化するとともに、独創性及び特色のある高い水準の研究を推進する。また、下関市の抱える地域課題等に即した研究や下関市の歴史的つながりや地理的特性を活かした研究に積極的に取り組む。

2 研究活動の充実

各教員の研究活動を活性化するため、研究費を競争的、重点的に配分するなどの明確なインセンティブを与える。また、質の高い研究成果を得るため、研究支援体制の充実・強化を行うとともに、外部研究資金の獲得を積極的に推進する。

3 研究成果の公表と社会還元

研究会やシンポジウムの開催、インターネットの活用などによって研究成果を積極的に学内外に発信する。

IV 地域貢献に関する目標

1 地域との共創関係の構築

「地域との共創」をコンセプトに、教職員と学生が地域住民と協働して、地域の発展に貢献するため、地域課題の解決に向けた研究に積極的に取り組むとともに、生涯学習機会の提供や地域への各種研究成果の還元等により、大学の知的資源を社会に十分に提供する。

また、次代を担う人材を育成するため、大学が有する人的資源を活かし、学生等による市内の学校教育活動への支援を推進するとともに、高大連携のさらなる充実を目指し、特に、関門地区内にある高等学校との連携を強化する。

2 産学官連携の推進

地域のニーズに即した産学官連携を強化するとともに、共同研究や受託研究等を推進し、地域のシンクタンクとしての機能を果たす。

V 国際交流に関する目標

1 学生の国際交流の推進

国際社会に開かれた大学として、東アジアを中心とした海外の大学との連携を強化し、学生の相互交流を積極的に進める。

2 国際交流体制の整備

国際交流センターの機能を強化し、交流協定校の拡充を目指すとともに、派遣留学生や受入留学生への支援を充実させる。

3 国際学術交流の強化

国際的な学術交流を推進するため、特に東アジアの大学との共同研究等を積極的に推進する。

VI 管理運営等に関する目標

1 業務運営の改善及び効率化

(1) 業務運営

限られた学内資源を効果的に活用するため、全学的な観点から人員配置や予算配分などを行うとともに、教員組織と事務組織との連携を強化し、より効率的な組織運営を行う。

また、学生、保護者及び市民の期待と信頼を損なわないように、教職員のコンプライアンスを徹底するとともに、事務の効率化と適正化を推進する。

(2) 人事の適正化

法人の自律的な運営の核となる教職員を確保・育成するため、優秀な人材を計画的に採用するとともに、人事考課制度を適正に運用する。

また、多様な事務職員の適正配置を計画的に進めるとともに、研修等を通じて、教員と協働する専門性の高い事務職員を育成する。

2 財務内容の改善

(1) 自己収入の増加

法人運営の安定性と自律性を高めるため、外部資金の獲得に積極的に取り組み、自己収入の拡充を推進する。

(2) 経費の抑制

大学の業務全般について効率的な運営に努め、事務の合理化や適正な人員配置等により、経費を抑制する。

(3) 財務内容の健全性

法人の財務内容の健全性を確保する。

3 自己点検・評価・改善及び情報提供

(1) 評価の充実

客観的な達成水準や指標に基づいた点検・評価を行い、PDCAサイクルを効果的に機能させた大学運営を行う。

(2) 情報公開の推進

法人運営の透明性を確保するとともに、社会に対する説明責任を果たすため、積極的に情報を公開する。

4 その他の業務運営

(1) 施設設備の整備・活用

既存施設の適正な維持・管理や中長期の施設整備計画に基づく計画的な整備・改修に努め、快適なキャンパス環境を形成するとともに、施設を効率的に活用する。

(2) 安全管理

周辺地域と連携したキャンパス防災体制の整備を行うとともに、大学の抱えるリスクを管理し、情報セキュリティを確保する。

【用語の解説】

●キャリア教育

望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育のこと。

●FD (Faculty Development ファカルティ デベロップメント)

教員が授業の内容や方法を改善し、向上させるために行う組織的な取り組みのこと。学生に対しての授業評価アンケート、教員相互の授業参観や研修の実施などがある。

●外部資金

入学金や授業料、下関市からの運営費交付金以外に、外部から獲得する資金のこと。科学研究費補助金や寄付金、委託調査費などが該当する。

●キャリアセンター

就職活動の支援に加えて、低学年向けキャリア発達プログラムの実施、キャリア形成に即した履修相談、インターンシップ、さらに就職以外のサポート（留学、起業、大学院進学、資格取得等）など、キャリアの全てに関わる自律支援を行う組織のこと。

●初年次教育

大学に入学したての学生に対して、大学生活の出だしでつまづかないように手助けするプログラム。高校から大学への円滑な移行を図り、大学での学習と生活を成功させるべく、大学での学問に必要なスキルや、人間関係を確立するためのコミュニケーションなどを学ばせる内容となっている。具体的には、レポートの作成や資料の収集方法など、大学の学習に必要な基本的な作業について教えること。教員から一方的に教えられることが多い高校までと異なり、大学では自主的な学習が求められる。導入教育ともいわれる。